

2026年度会員募集中

産業界における カーボンニュートラル研究会

大阪科学技術センターでは、日本の企業活動においてもその重要性が急速に増してきたカーボンニュートラルに正しく向き合い、業界横断で課題を共有、対策を議論する研究会を2022年2月に設立し、活発に活動しております。
大企業、中小企業、スタートアップをはじめ幅広い業界から参加される企業を募集しています。



第27回定例研究会 総合討議風景

本研究会の目的

1. 最終的なカーボンニュートラル社会を実現できる**カーボンニュートラルシステム**とはどのようなものか、それを**成立させるための技術オプション**は何かを業界を越えた知見の集約と率直な議論により明確化・共有することにより、**一社では対応できない対策立案に資する。**
2. 課題解決に向けた**長期的な技術開発促進のため、業界を超えた技術者人脈**を形成する。
3. 製造業を中心とした産業セクターにおいて、製品ライフサイクルでの**カーボンニュートラルの成立を総合的にとらえ、業界横断でその課題解決を加速することにより、日本の産業の競争力を高め、持続可能な産業の発展につなげていく**ことを最終目的とする。



本研究会の特徴

1. 業界横断で自由に議論できる場

- ・カーボンニュートラルシステムの実現に向け、業界横断的な機関による継続的な活動
- ・大阪で開催という土地柄を活かし一歩踏み込んで自由闊達に議論できる場を提供

2. カーボンニュートラルに関わる技術にフォーカス

- ・カーボンニュートラルに関わる技術にフォーカスし、深掘りした情報を網羅的に提供
- ・課題解決に向けた技術開発・研究開発など自社事業への落とし込みに役立つ情報の提供

3. 長期的な視野の下、共創の機会・人材の育成

- ・一社では対応できない対策の立案に役立つ共創の機会の提供
- ・カーボンニュートラルの担い手となる人材の育成

2026年度の活動内容

1. 定例研究会

・2026年度は、「日本版カーボンニュートラルシステム実現に向けたトランジション(移行)について、カーボンニュートラルを必ず実現するための技術開発や政策の課題の明確化に資する内容について取り上げる。

また、GXビジョン2040、第7次エネルギー基本計画などを十分に考慮し、技術の組み合わせを意識したテーマなどメーカー、エネルギー事業者、建築・住宅など、各企業に役立つテーマを取り上げる。

・定例研究会は来場とオンラインのハイブリッド形式にて8回開催し、うち1回を先進的な取組みをしておられる事業所の見学会を行う。

・各回、上記重要ポイントをテーマとして、有識者による講演3件程度と総合討議(約3.5時間)で構成する。

・総合討議では論点を明確にした集中的な議論を行う。

・最終回でそれらを総合し、グループワークの最終結果報告も含め、日本版カーボンニュートラルシステムのトランジションがどのように行われるのかの総合討論を行う計画。

・参加者間の交流と率直な意見交換を図るため、立食形式の交流会も行います。



定例研究会風景



見学会 関西電力 大飯原子力発電所



見学会 関西電力 舞鶴火力発電所

2. 若手メンバーによるグループワーク

- ・小林会長の指導の下、企業の若手技術者をメンバーとして、2025年度から参加のメンバーにて、引き続き日本版カーボンニュートラルシステムのイメージづくりをテーマにワークを行います。
- ・2026年度の定例研究会の最終回で、最終報告を行います。
- ・2026年度は新規参加募集は行いません。



グループワーク風景

2026年度年間テーマ

「日本版カーボンニュートラルシステム実現に向けたトランジション・パート2」 定例研究会(予定)

- ・第33回 5月25日 CNに向けた国内外の動向
- ・第34回 6月17日 工業地帯や港湾におけるCN化に向けた連携
- ・第35回 7月29日 ペロブスカイト太陽電池、アンモニア、原子力
- ・第36回 9月24日 <設備見学会> RITE バイオものづくり実験棟・炭素回収技術評価センター
- ・第37回 10月6日 電力需給・インフラ整備等(電力・通信インフラ等の整備)
- ・第38回 10月23日 街のカーボンニュートラル化
- ・第39回 12月1日 洋上風力、次世代型地熱、フュージョンエネルギー
- ・第40回 1月15日 トランジションのまとめ

・講演会は講演3件・総合討議(3.5時間)+ 交流会(立食形式;参加費要)

・大阪科学技術センター会場とZoomのハイブリッド開催

※上記の内容は3月現在での案であり、変更の可能性あり。

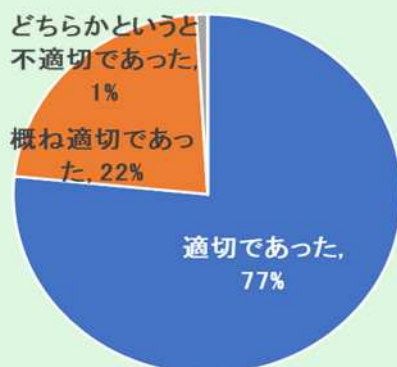
・過去の活動実績(2022~2025年度)は下記URLをご参照願います。

<https://carbon-neutral.ostec.or.jp/>

アンケート結果(2025年度全体)

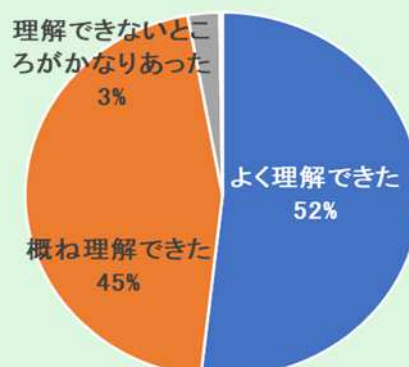
参加頂いたみなさまから、テーマ・内容、理解度、満足度とも高評価を載せております。

1. 講演テーマ・内容は適切
でしたか？



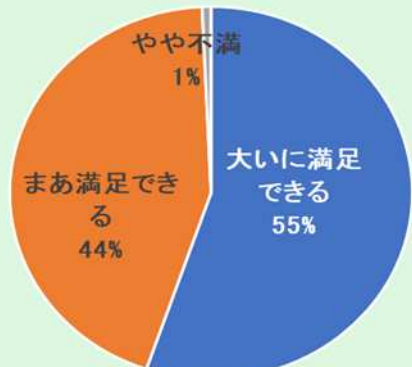
適切・概ね適切であった
99%の方が回答

2. 内容は理解できましたか？



よく理解・概ね理解できたと
97%の方が回答

3. 講演内容は、満足できましたか？



大いに満足・まあ満足
と99%の方が回答

運営体制

会長

小林英樹 大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授
<http://www-ssd.mech.eng.osaka-u.ac.jp/index.html>

副会長

関根 泰 早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 教授、
研究戦略センター 所長

幹事

住友電気工業(株)(幹事長)
(公財)地球環境産業技術研究機構、(国研)産業技術総合研究所、
大阪ガス(株)、(株)大林組、カナデビア(株)、関西電力(株)、ダイキン工業(株)
大和ハウス工業(株)、三菱電機(株)

会員

企業会員27社、学識会員8名、オブザーバー8機関(2026年3月現在)

事務局

大阪科学技術センター 技術振興部 (技術開発委員会事務局)

企業会員(五十音順)

旭化成株式会社	株式会社クボタ	ダイキン工業株式会社
NTN株式会社	株式会社栗本鐵工所	大和ハウス工業株式会社
ENEOS株式会社	株式会社KRI	株式会社竹中工務店
大阪ガス株式会社	株式会社神戸製鋼所	TOYO TIRE株式会社
大阪ガスケミカル株式会社	堺化学工業株式会社	東洋紡株式会社
株式会社大林組	株式会社島津製作所	株式会社日本触媒
カナデビア株式会社	住友精化株式会社	株式会社堀場製作所
川崎重工業株式会社	住友電気工業株式会社	三菱電機株式会社
関西電力株式会社	積水化学工業株式会社	村田機械株式会社

学識会員(五十音順、敬称略)

赤松 史光 大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授
荻本 和彦 東京大学 生産技術研究所 特任教授
栗山 信宏 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究戦略本部 知財・標準化推進部標準化
推進室 標準化オフィサー
廣田 典昭 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副所長
村田 秀則 大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 講師
横本 克巳 九州大学 水素材料先端科学研究センター 特任教授
山田 秀尚 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 教授
和田 謙一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ 主任研究員

※2026年3月現在

会費(企業会員)

企業会員(大企業) : 年額275,000円(消費税込み)、OSTEC賛助会員は220,000円(同)
企業会員(中小企業*) : 年額137,500円(消費税込み)、OSTEC賛助会員は110,000円(同)
* 中小企業の定義は下記 <https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html> を参照
(人数制限のあるイベント以外は何人でも参加可、飲食費・旅費等は別途徴収)



詳細・入会申し込み・問い合わせはこちら

<https://carbon-neutral.ostec.or.jp/>

または 大阪科学技術センター 技術振興部

TEL : 06-6443-5320 カーボンニュートラル研究会担当

CN研究会

で検索